



まちづくりネットワークが 会長
石本設計

いしもと としみつ
石本 俊光 さん

市内で設計事務所を営みながら、都賀地域のまちづくり実働組織、蔵の街職人塾、社会福祉協議会、うだちの会など、様々な団体で活動し、栃木市のまちづくりを支える石本さんにお話を伺いました。



不思議と手になじむ？流木鉛筆

ものづくりの楽しさを伝える
会津出身の石本さんは、設計士として県内に15年在住した後、奥さんの実家のある都賀町に移住しました。手先が器用で、ものづくりが趣味。仕事のかたわら、収集した流木を使った木工教室などを行っています。市内のイベント内で開催したり、小学校で授業を頼まれることも。『流木鉛筆』『木工かぶと虫』など様々な作品を教えるほか、小石で作る六地藏など、得意な作品多数。
「イベントに併せて横山郷土館などの施設で教室を行っています。市の魅力を伝えるため、入館者の増加に協力したい。そしてものづくりの楽しさを皆さんに知ってほしいのです。私自身、木製の製品などを見ると『どうやって作っているのかな？』と必ず考えてしまうくらいものづくりが好き。更にと人と共同で作品を作る楽しさは、まちづくりにも通じる場所があります。」

地域のまちづくりに貢献

多くの団体の活動に協力している石本さんは、まちづくり実働組織『まちづくりネットワーク』の会長として、パワフルに地域を盛り上げています。
「都賀に移住後、地域の事をよく知りたい、と地域協議会の公募に手を挙げたのがきっかけ。その後、実働組織に移り会長に就任しました。最近の都賀の桜祭りやハス祭りでは、フォトコンなどの新たな試みで来場者も増加し、キッチンカーの売り上げも見込めるようになりました。今後は商店街などに出店を働きかけ、イベントを地域の活性化に直結できれば、と考えています。」

若い世代と共にまちづくりを

今後のまちづくり活動に必要なこととはなんでしょうか。
「話し合いでは様々な対立意見が出るが、腰を据えて聞けば、大抵は理解できるもの。しかし、時間がなく、表面的な情報だけで白黒つけてしまうことが多い。まずはお茶を飲みながら語り合い、一体になって取り組む準備をすることが大事だと考えています。」
また石本さんは、多くの若者がまちづくりに参加し、活動の世代交代をしていくことが必要だと言います。

「若者がイベントに参加してくれない、と嘆く人もいるが、面白い事をやれば自然に人は集まるはず。工夫し、情報発信し、若い世代も興味を持って参加できるように、地域の皆で協力して取り組んでいきましょう。」

紺綬褒章受章おめでとうございます

市内在住の五月女博勇様さおとめひろおが、栃木市へ私財の多大なる寄附をされ、国から紺綬褒章を授与されました。

1月24日に、市長公室にて伝達式が行われ、市長から褒章を伝達いたしました。誠にありがとうございます。



子育て支援課
☎(21) 2 2 8 8

宇都宮市在住の大塚雅一様おおつかまさかずが、出身校である家中小学校と都賀中学校へ多額の寄附をされ、国から紺綬褒章を授与されました。

1月26日に、大塚様が理事長を務められている(学)宇都宮海星学園 星の杜中学校・高等学校にて伝達式が行われ、市長から褒章を伝達いたしました。誠にありがとうございます。



学校施設課
☎(21) 2 4 6 4

4月13日(土)
10時~15時

あそびにきてね☆



10th Anniversary
とち介

問合せ 広報課 ☎(21) 2172

お誕生会

@マルシェ

栃木市立美術館・文学館ひろば(入舟町)

※雨天時にはとち介のお誕生会セレモニー、キャラクターステージのみ栃木市市民交流センター大交流室で実施

平成26年4月にとち介が蔵からあらわれて、はや10年。今年には記念すべき10周年ということで、一緒にマルシェを開催します。とち介やお友だちキャラと楽しい1日を過ごしませんか？

- ★とち介ファンクラブ会員にイベント限定缶バッジをプレゼント
- ★タイムスケジュール、マルシェの出展内容等の詳細は、随時HPに掲載します。(右の2次元コードを参照)



栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum



栃木市立文学館
Tochigi City Literature Museum



無料観覧日等のお知らせ

美術館・文学館に気軽に来館し、文化・芸術に親しんでもらうため、次のとおり無料観覧日を設けています。また、令和6年4月からお得な年間観覧券および前売観覧券を販売します。是非、美術館・文学館にお越しください。

無料観覧日 6月15日(県民の日)(※)および6月第2土曜日とその翌日(県民の日関連)、11月3日(文化の日)、毎月第3日曜日における中学生以下の者の同伴者2人まで(家庭の日)
(※) 令和6年6月15日(土)は、美術館の展示替えのため、文学館のみ開館となります

年間観覧券 美術館 3,000円/文学館 600円(購入日から1年間有効)

前売観覧券 団体料金と同額(購入日の翌日から有効)

美術・文学館課 ☎(25) 5 3 0 0 (美術館) ☎(25) 5 4 0 0 (文学館)